

第51回東京厚岸会 笑顔で再会



令和6年4月21日、江戸城三十六見附の一つである『四谷見附』の北側石垣が現存する四ツ谷駅近く、『主婦会館プラザエフ』を会場に開催されました。

ご多用の中、地元厚岸町から若狭町長はじめ、石塚副町長、大野町議会議員長、厚岸漁業協同組合川崎元組合長、鉦路太田農業協同組合河村副組合長、石倉金融課長、厚岸観光協会安藤事務局長など、たくさんのご参加がありました。令和2年2月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大による中止が続き、4年ぶりの再会に会場内は終始笑顔があふれていました。

中村武史会長の開会あいさつに続き『厚岸の最新話題を語る』トークイベントに若狭町長が登場。『広報あつけし4月号』に掲載された『今年一年のまちづくりの方針を示す町政執行方針』について説明し、参加者一同配布された広報誌を手にしてふるさと情報を共有する機会となりました。他にも昨年に開催された『第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会』と『天皇后両陛下が訪れた記録の『木碑』を製作』、『厚岸味覚ターミナル・コンキリエが道の駅ランキング14年連続1位』、『厚岸霧多布昆布森国定公園』そして、『大活躍の若きアスリート（佐藤綾乃さん、佐藤

龍世さん）』など町の近況を多く語られました。

次に鉦路太田農業協同組合河村副組合長が『極みるく65のグランプリ受賞』、厚岸観光協会安藤事務局長が『桜・牡蠣まつり、港まつり、夏まつり』、『クラフトジンの町内製造開始』などについての説明の後、厚岸漁業協同組合の組合長として、27年間、北海道ならびに日本の漁業をけん引し続け勇退された川崎元組合長からのあいさつがありました。

ステージでは♪yumi♪（宇佐美由美子）さんから『AKKESHII〜潮騒の町〜』の歌のプレゼントで会場のボルテージを上げ、大野町議会議員長の発声で『極みるく65』による乾杯で懇親会がスタート。会場内は久しぶりの再会にふるさとを懐かしく語り合い、大いに盛り上がっていました。

ジャンケン抽選会では『厚岸牡蠣食べ比べセット』『極みるく65アイスクリーム』『特産品』を当て、皆さんの顔にも笑みが浮かびました。

特に『厚岸ウイスキー』が当たる若狭町長とのジャンケン勝負では、会場内が大いに沸きあがりました。その盛り上がりの中、石塚副町長の中締めで盛会の内にお開きとすることができました。

人生百年時代、当会も後期高齢者

以上が多い老人会と同様の状況となつていきます。ふるさとを離れて半世紀以上の年月を経た人達だからこそ『ふるさとや旧友とのつながり』への思いが強いのでしょうか。

厚岸町出身ではない奥さまから、新年早々急死されたご主人の想いを叶えるべく、東京厚岸会に参加したいと電話があったため、承諾の返事をしました。会当日は、奥さまとは面識のないご主人の同級生を紹介し、和やかにお話されていて、後日「東京厚岸会はすばらしい会ですね」と電話をいただきました。

『小石川後樂園』での初めての集まりから続けて参加の前会長の宗石さんは90歳、元気にゴルフをやられています。高齢者が多くなりましたが『皆さんが元気に集い、つながる場』として、継続開催を企画し、親睦の輪を広めたく考えております。

（事務局長…石井龍児）

